

学校教育目標	子どもたちの「健康」「個性」「学ぶ力」を地域に根ざして伸ばしていきます。 健やかな身体と思いやりのある心を育みます。 互いの違いを認め合い、自分の良さを伸ばすことを支援します。 基礎・基本を大切に、生涯学び続ける力を高めます。				
	学校概要	創立 80 周年	学校長 守屋 一司	副校長 田中 修二	3 学期制 一般学級: 29 個別支援学級: 8
児童生徒数: 1090 人		主な関係校: 旭小 上寺尾小 東台小 駒岡小 獅子ヶ谷小 寺尾小			

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	寺尾中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
主体的に学び続けるための力 思いや考えを表現する力 よりよい社会の実現を目指す姿勢	旭小学校 上寺尾小学校 東台小学校	<p>○主体的に学び続ける子ども ○自信をもって自分らしさを表現できる子ども ○地域のつながりを大切に、進んで挨拶ができる子ども</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・教科内の学びの目標の共通化。 ・ブロックの交流会や会議を通して、互いの状況等の密な情報交換。 ・継続的な生徒理解、生徒指導、特別支援の取り組み。 ・積極的に地域行事に生徒を派遣して地域交流。

中期取組目標	<p>◇多くの人とふれあい、生徒一人ひとりの状況や思いを大切にしながら多様な考えの尊重や仲間と共に学びを深める授業や学校行事づくりを行います。</p> <p>◇本校80年間の歴史と築かれた地域との関係性を学校運営協議会を核としながら高め、地域に貢献できる力を育てます。</p> <p>◇生活習慣の改善や自己の体力向上・学力向上に取り組めるように各データを活用して指導に生かし、課題に取り組む力を育てます。</p>
---------------	--

重点取組分野		具体的取組
知	授業改善	①本時のめあてと振り返りをおこない、生徒自身が自己の取組を意識できる授業づくりを目指す。②校内授業研究会を行い、グループで授業改善と評価について検討する。③各教科において学力・学習状況調査のデータを分析し、全教科の授業改善に生かす。④生徒による授業評価を実施し、その結果から授業改善に取り組む。
担当	教科指導・人材育成・教務	
徳	道徳・人権	①豊かな心の育成を目指し、学校の教育活動全体を通じて、道徳科との関連を重視した取組を推進する。国際平和スピーチコンテストや人権作文などの取組を通じて、人権尊重の理念を、生徒自らが自分事として考える機会を設定し、学びの充実を図る。②他者と共によりよく生きる「ウェルビーイング」の視点を育み、互いの個性を認め合い、自分の思いを安心して表現できる学校づくりを行う。③あらゆる教育活動を通じて、他人を思いやる心や正義を重んじる心を育み、いじめを許さない学校風土を醸成する。
担当	人権道徳	
体	健康教育・食育	①保健教育を計画的に行い、生徒が自らの心身の健康について考え、守り育てていくための力を育成する。②教科や部活動を通して、体を動かすことの楽しさや体力向上への意欲を感じられる指導を行う。③中学校給食の全員喫食を契機に食育の推進を図り、校内体制を整えることで、生徒の健全な食生活の推進につなげる。
担当	保健安全・保健体育科・食育・給食	
公開	自分づくり教育	①総合的な学習の時間では、SDGsの視点を入れ、探究的活動に取り組む。特に職業講話や職場体験では、職種にこだわらず社会的な課題も意識した事前学習も取り入れ、生徒が主体的に活動できるように指導を行う。②地域学校協働本部との連携を進め、地域防災や地域の行事に生徒の参加を促進すると共に、地域に向けた活動についても考える機会を作っていく。③80周年記念行事の準備を通じて、地域や社会と関わる意識を高める。
担当	自分づくり・総合・80周年	
いじめへの対応		①こども会議や生徒会活動(あいさつ運動)等において、生徒が話し合う機会を年間計画に設定し、生徒自らが考える未然防止への取り組みを強化する。②月2回以上、定期的にいじめ防止対策委員会を実施し(臨時に実施する場合もある)、認知された案件の経過観察をていねいに行うことで早期対応・再発防止に努める。③年3回のいじめ防止研修の実施による共通理解のもと、毎日の健康観察(スタディナビの活用)や年3回の生活アンケート(教育相談)・年2回のいじめアンケートやY-Pアセスメントを実施することにより些細な変化を見逃さない体制づくり(早期発見・対応)をすすめる。
担当	生徒指導部	
人材育成・組織運営(働き方)		①全職員によるメンターチームを組織し、教科ごとのグループワークを通して経験年数の少ない職員の育成や教科指導の強化を進める。②会議、研修などの持ち方を工夫し、時間縮減に努める。③一斉下校による集中した会議や事務処理の時間の設定等により勤務時間の軽減に努める。④計画的に代休や年休が取れるようお互いに協力すると共にプロジェクトを作り積極的に推進する。
担当	人材育成・教務	
SDGsの担い手育成		①SDGsの視点と学校生活を関連させた活動に取り組み、生徒が主体となって身近な課題や社会課題の解決に向けた活動になるようにする。 ②生徒会の企画の中で学校生活とSDGs17の目標とのつながりを示し、朝会や昼放送を通して全校生徒に呼びかけができるようにする。
担当	生徒会・学級活動・環境美化	
特別支援教育		①特別支援を必要とする生徒に対しSSWとの連携を含む組織的な支援方法を検討し、実施する。 ②特別支援を必要とする生徒に対する学習支援の方向性やてらまる一むの円滑な運営について検討し、実施する。 ③職員の特別支援に関する知識や教養を高めるために校内研修を計画的に行う。
担当	特別支援教育・個別支援	
情報教育		①「ICTを活用した学習サポート」についての検討や改善をおこない、校内研修を実施する。 ②校内及び家庭でのChromebookなどのICT機器のより効果的な活用方法を検討、実践する。 ③やむを得ない事情で登校できない生徒を対象にした授業配信の実施について改善に取り組む。
担当	情報・視聴覚・図書	
担当		